

某貞家・某家綱連署書状

【原文】

野瀬村下神田之
御寺領御百姓此間、御
寺へ御年貢・地子其外、
油等公事・足致以下
まで不仕之由、申候間、
其分申付候処、百姓召
寺家へ可致其沙汰由、
請かい申間、目出度存候、
恐々謹言、
享徳式

十一月十日 家綱（花押）

貞家（花押）

石峯寺

行事所

【読み下し】

野瀬村下神田しもこうだの御寺領御百姓、この間、御寺
へ御年貢・地子じしその外、油等公事くじ・足致以下
まで仕らざるの由、申し候間、その分申し付
け候処、百姓じけ寺家へ召し、その沙汰を致すべ
き由、請かい申す間、目出うけたく存じ候、恐々
謹言。

享徳式

十一月十日 家綱（花押）

貞家（花押）

石峯寺

行事所

【現代語訳】

野瀬村下神田の御寺領の御百姓、この間、御
寺へ御年貢・地子そのほか、油などの公事・
足致以下まで納めないということ（石峯寺

側が）言っていたので、それについて命じた
ところ、百姓を寺家へ呼び出し、（年貢など
を）納めることを請け合ったということだ、
めでたく思います、恐々謹言。

享徳式

十一月十日 家綱（花押）

貞家（花押）

石峯寺

行事所